

# 平成27年度第1回群馬県慢性腎臓病対策推進協議会議事概要

- 日時：平成27年9月14日（月）19時～20時30分
- 場所：県庁舎28階 281B会議室
- 出席者：群馬県慢性腎臓病対策推進協議会委員 12名（2名欠席）  
事務局 保健予防課長ほか5名  
傍聴人：2名

## ○配付資料

- ・次第
- ・協議会設置要綱・委員名簿
- ・資料1：平成26年度群馬県慢性腎臓病対策実施報告
- ・資料2：月刊厚生労働掲載記事
- ・資料3：保健医療従事者研修会の案内（案）
- ・資料4：ホームページ閲覧数、ファイルダウンロード数

## 1. 開会

## 2. あいさつ

群馬県健康福祉部保健予防課長

群馬県慢性腎臓病対策推進協議会長

4年目を迎え軌道に乗ってきた。慢性腎臓病の治療は多岐にわたり、各分野で集まることはあるかと思うが、全体で集まって協議できるのはいい機会である。このような協議会が続けられるのは皆様のおかげである。今後も活動をしっかりと続けていきたい。

## 3. 委員紹介

## 4. 議事

議長：会長

### (1) 報告事項

平成26年度群馬県慢性腎臓病対策実施報告

事務局より、資料1により平成26年度の実施報告、資料2の掲載記事を紹介した。

### (2) 協議事業

平成27年度群馬県慢性腎臓病対策事業について

#### ① 協議会開催予定について

事務局より、資料1により平成26年度の実施報告、今年度の開催の計画について説明した。

#### <概要>

- ・今年度は、今回の協議会のみ開催とし、必要に応じて年度末に臨時開催することとして検討したい。

#### <廣村会長より補足>

- ・協議会も4年目となり、事業については軌道にのってきた。必要があれば年度末に検討をしたい。

#### <質疑・意見等>

特になし

## ②保健医療従事者向け研修会について

事務局から資料3に基づき、開催日時、場所、講師、講演内容について説明した。

### <概要>

- ・廣村会長、川島委員に事前に御相談をさせていただき、今年度は川島委員の推薦をいただいた新潟大学 保健管理・環境安全本部 保健管理センター教授・所長 鈴木芳樹先生をお願いしたい。
- ・平成27年11月11日（水）19:00より、群馬県庁2階ビクターセンターにて開催。先着100名で募集をかける予定。
- ・初めての試みとして夜の時間帯での設定とさせていただいた。
- ・本協議会で承認をいただいた後、委員へはメール等で御連絡するので、周知をはかっていたきたい。

### <廣村会長より補足>

- ・昨年度までは、世界腎臓病デー（3月第2木曜日）に合わせて行っていたが、年度末であるため忙しい時期と重なると参加者から意見をいただいていたことから日程を検討した。
- ・テーマも参加者からの要望が多かった食事療法を中心に、掘り下げてお話いただきたいと思っている。鈴木先生は、昨年度慢性腎臓病食事療法基準2014の策定に中心的に関わられている。
- ・市民公開講座は、例年どおり世界腎臓病デーに合わせた開催をしたいと考えている。

### <質疑・意見等>

- ・とてもすばらしい研修会である。定員が100名であるのが残念である。（塚越委員）  
→様々な要因（夜間、会場使用料、駐車場等）を考慮して県庁を設定した。（事務局）
- ・先着順なのか。（溜井委員）  
→昨年度並みであれば100名でちょうど良い定員であると思うが、申込多数となった場合は相談させていただきたい。（事務局）

## ③一般向け公開講座について

### <概要>

- ・昨年同様、群馬大学腎臓・リウマチ内科と共催にて開催したい。
- ・日程は平成28年3月19日（土）に渋川市民会館 中講堂（定員200名程度）を予定している。

### <廣村会長より補足>

- ・いつも応募が多く、いつも盛況に開催している。
- ・会場は前橋・高崎・藤岡・前橋と開催してきているので場所をかえて、今年度は渋川市を計画している。
- ・世界腎臓病デーにあわせた日程を調整している。
- ・今年も委員の先生にも協力していただきたいと思っている。
- ・チラシは最終版が整ったら、2月初旬くらいに新聞折り込み等で渋川市・中之条町・前橋市北部を重点的にチラシを配布したいと考えている。委員の皆さまにも、関係団体の方へ御周知いただきたいと考えている。例年、チラシでの申し込みが約7割である。
- ・講座の内容は、講演やパネルディスカッションなど、実際に役立つ内容を計画したい。

### <質疑・意見等>

- ・もう少しかみくだいた内容を希望したい。（清水委員）  
→なるべく易しく、実際の生活で役立つ内容を計画したい。

#### ④医師向け研修会

##### <概要>

- ・今年度は、外部委託事業として医師向け研修会を考えている。委託費用は予算措置が行われている。医師会を中心にした実施で考えていますが、委託先と研修内容について御意見いただきたい。

##### <廣村会長より補足>

- ・最近では講演会が減ってきているので、協議会が主導で開催できればと思っている。
- ・県と医師会の共催という形でよいか。→異論なし。
- ・開催時期は世界腎臓病デーの来年の3月近辺で検討していきたい。

##### <質疑・意見等>

- ・県内の医師に、まずはCKDを知っていただくことも大事である（川島委員）
- ・開催されればぜひ参加したいと思う。群馬県は糖尿病性腎症からの透析が多いため、それらのテーマも含まれるとよいかと思う。（関根委員）

#### ⑤普及啓発について（CKD シール、ホームページ等）

##### <概要>

- ・医療企画の雑誌等での掲載にあるように、のぼり旗等での普及啓発も行っているが、主にHPを活用した普及啓発を行っている。
- ・協議会で作成した普及啓発シール等はダウンロードできる環境を整えている。  
3月から9月までのページの閲覧者は1,000を超え、シールのダウンロード数は標準サイズが87、大サイズは63。関心の高い方への普及啓発はできていると思うが、今後の普及啓発についてご意見や、手法のご提案をお願いしたい。

##### <廣村会長より補足>

- ・専門的なサイトとしては、多くの方に見てもらえているのではないかと。
- ・グーグルなどで「群馬県慢性腎臓病」と検索すると上位に掲載されるので、群馬県の慢性腎臓病対策に関心のある方には閲覧してもらえていると思う。
- ・開催時期は世界腎臓病デーの来年の3月近辺で検討していきたい。

##### <質疑・意見等>

- ・群馬県では、お薬手帳の改訂に合わせてシールの大きさを調整した。（プリントアウトすると原寸大で手帳にぴったり貼ることができる）（武智洋委員）  
→とてもありがたい。医師向けの研修会等でもシールを啓蒙していきたいと思う。シールは専門医に貼ってもらい薬の副作用を減らしていきたいと思う。（廣村会長）
- ・委員の専門医の先生方にも事務局を通して手帳をお渡ししたいがよいか。県としても普及ができると思う。家に忘れてしまった等、専門医が貼りたいときに手帳が手元にないと機会を逃すことになる。後日、家に忘れてきた手帳との統合は薬剤師ができる。（武智洋委員）  
→異論なし（シールを貼るのは専門医ということで確認）

#### ⑦その他

- ・（廣村会長）高崎医師会ではKDBのデータと健診データの照合をうまく使って、予防につなげていきたいとしている。健診でクレアチニンをチェック→受診勧告→かかりつけ医を受診→受診状況を確認して、CKD予防につなげていきたいという動きがあるが市町村ではどうか。  
→（前橋市）データヘルスが稼働し始めて、糖尿病や高血圧の患者が多いということがわかり、医師会の先生方にも概要を説明した。というところまでが現状である。対策についてはこれか

らである。

- (安中市) 23年度から健診でクレアチニンを導入している。KDB データからステージ2からCKD 予防教室に480人にお誘いをし、約50人の参加があった。教室を開催した受講者が主治医にかかると「このくらいなら大丈夫」と返されてしまうケースがあって悩んでいる。市としては医師会との連携をとれるような検討会を立ち上げたいと思っている。
- (川島委員) 医師会には、事前に話をしておくことが重要である。市でどのような話がされたのかを事前に知らされていないと専門医でない先生は対応に困る先生もいる。CKD は専門の先生が少なく、また単一の治療法で治るとうことではなく、患者ごとの病態に合わせた取り組みが必要となる などの難しさがある。
- (会長) かかりつけ医にもしっかり加わってもらえるとよい。まずはより重症者をピックアップしていくことが重要。
- (岡委員) 高齢者は返されてしまうことが多くなる。
- (会長) かかりつけ医には定期的に血液検査をしていただき、必要に応じて専門医につなげられるようにしておくことも必要。最低限塩分制限が必要であることを伝えることも必要。
- (塚越委員) 開業医の先生のところは管理栄養士がいないことが多い。群馬県栄養士会も栄養ケアステーションの立ち上げを進めているところであるが、なかなか進んでいない。
- (小川委員) 健診で受診勧奨を進めた経験もあるが、せっかく受診勧奨してもその先にいけないと重症化予防にもつながっていかない。連携は難しいが地域の患者さんは地域の先生方に診てもらえるとよい。経過観察であっても受診ルートに乗れると健診をした意味も大きくなる。
- (前橋市) 高崎市のように、医師会と組んだ成功事例を県が上手に情報発信してほしい。悩んでいる行政側としては、うまくいくのではないかと期待している。
- (安中市) 安中市では医師会と毎月官庁連絡会議を30分という短時間で行っている。なかなか保健事業までは話し合いができない。今週末は岡委員に安中市の特定健診・保健指導従事者の研修会を予定している。この会議がきっかけでお願いすることができた。
- (武智浩委員) 先日の茨城の大雨災害では、常総市の保健所や病院が水没しているようだ。群馬の大雪の時にもそうであるが、大規模な自然災害では透析患者さんにはとって厳しい状況が生じることを実感した。
- (事務局) 茨城の大雨災害については、日本栄養士会災害支援栄養チーム (JDA-DAT) が日曜日の朝にDMATと活動しているようである。
- (清水委員) 阪神大震災の時には自分で透析病院を探すことが困難だったようだが、最近は認知度があがってバスで輸送してくれたりするし、病院間の連絡体制も進んでいる。大雪の時には自身も大変な思いをした。先生に聞いたところ、群馬県内で水害があっても、その範囲は限定的となるので県内の病院間でやりくりができるのではないかと聞いているが、関東大震災などが起こると逆に近県からの患者の受け入れが必要になると思われる。
- ・ (武智洋委員) 前回は透析の患者さんにもCKD シールを貼る。という提案があったと記憶しているがいかがでしょうか。
- (会長) 透析患者さんは、ほかの薬についても透析している病院でもらうことが多いので個人的には貼らなくてもいいのかと思いますが、ご意見ありますか。
- (清水委員) 今は基本院外薬局。透析の主治医から出る処方箋を持っていく。ほかの病院に行くときには紹介状をもっていくので大丈夫ではないかと思う。また行った先で透析患者が飲めない薬を主治医に聞いてきてほしいと言われることもある。

## その他

(参考資料) 8月3日に平成27年度群馬県糖尿病対策検討会を開催した。

群馬県では糖尿病性腎症からの透析の移行が多いという話もあったが、糖尿病対策についても

KDB を活用した分析が可能になったということで、糖尿病現状分析も含めて県として推進した方がよいのではないかとということで検討会を立ち上げた。県の予算措置がされれば CKD のように協議会を立ち上げて、CKD の先生方にもお世話になると思いますがよろしくお願ひします。

→ (会長) 群馬大学内分泌糖尿病内科の山田教授が中心となった検討会が開催された。早めの予防が患者さんにとって重要であり、また医療費抑制にもつながる。

→ (川島委員) KDB の細かいことを知っている医師会の方が知らない。どのようなデータを使って分析できるのかまたどこまで使っているかわからない。医師向けに研修会ができたらと思う。

医師会では、県と糖尿病健康手帳を作成している。今年度中に完成する予定。

今までの手帳は数年でデータがいっぱいになってしまう。データを7～8年分記録することができる。

• eラーニングの閲覧数はどのくらいでしょうか。(武智洋委員)

→把握はしていないが、カウントはできている。現在バージョンアップ中である。(岡委員)